光ガ丘中だより～光あふれて～

R８年度
５月号

校　長　　井　川　勝　博

今日はどれだけの挨拶を交わすのでしょうか。「おはよう」「いってきます」「いってらっしゃい」「お願いします」「元気か」「こんにちは」「さようなら」「バイバイ」「ただいま」「お帰りなさい」「おやすみなさい」。挨拶と言えるのかどうかはわかりませんが、「ありがとう」「ごめんな」「ちょっといいかな」「がんばれ」などなど。いろいろな挨拶や言葉がけがあります。残念ながら、挨拶されても恥ずかしくて返すことができなかったり、返そうと思ってもタイミングを逸したり。もしかしたら、あえて挨拶を返さない人もいるのかもしれません。挨拶とは何なのでしょうか。

『挨拶は、相手の存在を認めていることを相手に積極的に伝える行為』といわれます。
人は基本的に自分の存在を認めてほしいという欲求をもっているそうです。相手のことを認めるということは、相手だって嬉しい気持ちになります。だから、挨拶されたらうれしいし、挨拶されないと自分の存在を否定されたようで悲しい気持ちになるそうです。
「人を気持ちよくさせる方法ってたくさんあるけど、『挨拶』ってその中の一つだよな。」ビートたけしさんの言葉です。まさにその通りなのかもしれません。
また、皆さんもよくご存じのディズニーではキャストはゲストとの関係をよくするためにも次のようなことを意識しているそうです。
・話しかけるときには必ず挨拶を入れることでこちらの第一印象を良くし、相手に不信感を与えないようにしている。「何かお探しですか」→「こんにちは。何かお探しですか」
・お願いするときはクッション言葉として入れ疑問形で伝える
「少しだけ下がっていただけますか」→「恐れ入りますが、少しだけ下がっていただけますか」
簡単なことですが、挨拶などをいれることで、話しやすくなったり、関係性を良くしたりできるということです。これは、我々の普段の生活でも使えそうです。

最後に、元NHKアナウンサーの鈴木健二さんは、『「挨」は「開く」、「拶」は「迫る」という意味があり、つまり挨拶は「心を開いて相手に迫る」こと』という名言を残されています。
自分から先に心をひらき相手に近づいていくこと、その手段が挨拶だということなのでしょう。

いままでできなかった挨拶ならば、少し勇気をもって言葉にしてみませんか。できることなら、自分から。明日の朝、起きたときに小さな声でもいいです「おはよう」って。自分はここにいますよ、って合図です。あなたがそこにいること知ってますよ、って相手に対する優しさです。そんな思いの中で朝が迎えられたら、素敵だと思いませんか。